

平成26年2月の大雪に係る対応状況検証報告書

平成26年7月

群馬県総務部危機管理室

目 次

はじめに	1
I 被害等の概況について	2
1. 気象の概況	2
(1) 積雪状況	
(2) 気象警報・注意報発表状況	
2. 被害の状況	4
(1) 人的被害	
(2) 住家・非住家被害	
(3) その他の被害	
3. 避難等の状況	5
(1) 避難指示、避難勧告、避難準備情報	
(2) 避難所の開設	
4. 公共交通機関の状況	6
(1) J R	
(2) その他の鉄道会社	
(3) 路線バス	
5. 主な道路通行規制の状況	6
(1) 県内主要道路通行規制	
(2) 高速道路・国管理道路	
(3) 県管理道路	
6. 県・市町村の体制	9
(1) 県	
(2) 市町村	
7. 孤立集落の発生状況	10
8. ライフラインの状況	12
9. 救助活動等の状況	12
(1) 人命救助	
(2) 孤立集落等への物資輸送	
(3) 安否確認	
(4) 調査、搜索等	
(5) 県内各消防本部（局）の救助・救急出動の状況	
10. 情報発信の状況	14
(1) 県	
(2) 市町村	
11. 災害救助法適用の状況	14

II 検証について

1. 検証作業方法 ----- 1 5

- (1) アンケート調査の実施
- (2) 検証会議の開催
 - ア 庁内関係部局検証会議の開催
 - イ 市町村検証会議の開催
- (3) 主な孤立集落発生市町村長からの聞き取り調査

2. 検証結果 ----- 1 5

- (1) 体制整備について
- (2) 人命救助活動について
- (3) 孤立集落への対応について
- (4) 除雪体制について
- (5) 道路の交通規制等について
- (6) ライフライン確保（電気）について
- (7) 情報発信・情報共有について
- (8) 農業被害について

まとめ ----- 2 8

- (1) 県の主な課題と今後の対応について
- (2) 県と市町村との連携の重要性
- (3) 自助・共助の大切さ

参考資料 ----- 3 1

- 1. 県等関係機関の対応状況の経過
- 2. 県等関係機関の人命救助活動等の状況
- 3. 自衛隊への派遣要請
- 4. 市町村アンケート結果の概要
- 5. 孤立集落が発生した主な市町村長からの聞き取り調査結果の概要

はじめに

平成26年2月14日（金）から15日（土）明け方にかけて、低気圧の接近・通過により関東地方では雪が降り続き、群馬県ではこれまでの最深積雪を大幅に更新する記録的な大雪となった。

この大雪により、県内では多数の方が亡くなられるとともに、高速道路や一般道が相次いで通行不能となったほか、鉄道・路線バス等の公共交通機関が運休し交通網が麻痺した。また、長時間にわたる停電や山間地域での孤立集落発生、家屋の損傷やカーポート、農業施設の倒壊が相次いで発生するなど、大きな被害がもたらされた。

県では、消防・警察・自衛隊など関係機関と緊密に連携しながら、県内各地において雪で車に閉じ込められた人達などの人命救助活動を優先的に行うとともに、並行して道路の除雪作業や孤立集落対策に懸命に対応するなど、全庁を挙げて取り組みを行ったところである。

今回の大雪被害の特色として、北毛地域だけでなくほぼ県全体が大雪に見舞われ、多大な被害が発生するという初めてとも言える経験をしたことから、本報告書では、先ず今回の大雪の被害状況等を記録として残すとともに、次に今後の県、市町村及び関係機関の雪害対策の充実強化に向けて、今回の大雪で実施した雪害対策を検証することとした。

この検証作業に当たっては、県庁各部局及び市町村に対しアンケート調査を実施するとともに、県庁各部局及び市町村防災担当課による検証会議をそれぞれ開催し、また孤立集落が多く発生した西毛地域の市町村長からの聞き取り調査も併せて実施したところである。

なお、今回の検証においては、大雪災害において大雪独特な事項に焦点を絞り、①体制整備、②人命救助活動、③孤立集落への対応、④除雪体制、⑤道路の交通規制等、⑥ライフライン確保（電気）、⑦情報発信・情報共有、⑧農業被害について検証し、併せて各項目ごとに今後の改善の基本的方向について検討を行った。

今後、この結果を県地域防災計画の改正、雪害対応マニュアルの作成の基礎資料として活用していきたいと考えている。

